



笛吹市

議会だより

平成26年1月23日発行

2014

Vol.37

GIKAI DAYORI

笛吹市芦川町
新道峠からの眺望

夜明けを迎える世界文化遺産の富士山

写真提供：高橋ざいち様



FUEFUKI CITY



笛吹市

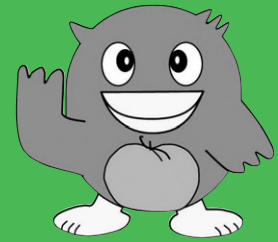
議会だより 2014 Vol.37

表紙 1
 あんない・議会日誌・会期日程 2
 倉嶋市長・行政報告 3
 工事入札に関する調査特別委員会設置 4
 臨時会・12月定例議会で決まったこと 5 ~ 7
 一般質問(13人) 8 ~ 14

渡辺 清美議員	神澤 敏美議員	大久保俊雄議員
亀山 和子議員	渡辺 正秀議員	川村 恵子議員
中川 秀哉議員	志村 直毅議員	岩沢 正敏議員
荻野 謙一議員	神宮司正人議員	中村 正彦議員
古屋 始芳議員		

視察研修ほか 15 ~ 17
 委員会レポート 18 ~ 19
 市民リレートーク / 議会日程 / 編集コラム笛吹川 20

あんない CONTENTS



議会日誌 GIKAI diary

- 9月 September**
- 3日 峡東地域広域水道企業団議会全員協議会
 - 4日 第3回定例会本会議(初日)・議会広報編集委員会
 - 6日 第3回定例会本会議(代表質問)
 - 9日 第3回定例会本会議(一般質問)
 - 10日 第3回定例会本会議(一般質問)・議会改革検討小委員会
 - 11・13日 各常任委員会(付託事件審査)
 - 18~20日 各常任委員会(付託事件審査・決算審査)
 - 25日 臨時全員協議会
 - 26日 議会改革検討小委員会・峡東地域広域水道企業団議会
 - 27日 議会運営委員会・全員協議会・第3回定例会本会議(最終日)
 - 30日 会派代表者会議

- 10月 October**
- 2日 甲府・峡東地域ごみ処理組合議会
 - 3日~4日 東山梨行政事務組合議会議員研修(千葉県旭市)
 - 10日 会派代表者会議・議会広報編集委員会
 - 11日 教育厚生常任委員会学校施設・社会教育施設視察研修
市議会議長会定期総会・総務常任委員会所管事項研修会
臨時全員協議会
 - 12日 市制施行9周年記念式典・ふるさと大使交流会
 - 18日 議会改革検討小委員会・東山梨環境衛生組合議会
 - 21日 会派代表者会議
 - 22日 全員協議会
 - 22~23日 関東市議会議長会理事会(群馬県安中市)
 - 25日 議会改革検討小委員会・県後期高齢者医療広域連合議会
東山梨行政事務組合議会
 - 26日 国文祭山梨2013開会式
 - 27日 市国文祭・現代詩の祭典「文芸祭現代詩大会」
 - 28~29日 教育厚生・建設経済常任委員会合同研修会

- 11月 November**
- 2日 石和温泉駅舎工事安全祈願祭・市国文祭俳句大会交流会
 - 3日 市国文祭文芸俳句大会表彰式
 - 5日~6日 総務常任委員会行政視察研修(会津若松市・越谷市)
 - 10日 市一周駅伝競走大会開会式・国文祭山梨2013閉会式
 - 11日 茨城県守谷市総務常任委員会行政視察来庁
 - 14日 議員全体研修会(事務事業評価)
 - 16日 第9回笛吹市文化祭開会式
 - 20日 会派代表者会議・市戦没者遺族大会
甲府・笛吹・富士河口湖・富士吉田線期成同盟会総会
 - 25日 議会運営委員会・全員協議会・第2回臨時議会
工事入札調査特別委員会・議会改革検討小委員会
 - 27日 山梨県総合事務組合全員協議会・意見交換会
 - 29日 議会運営委員会・工事入札調査特別委員会・全員協議会

12月議会・会期日程

- | | | | |
|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員会の審査報告 ・ 本会議 ・ 各委員会の審査報告 ・ 質疑・討論・採決 ・ 閉会 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 付託案件・事件審査 ・ 各常任委員会 ・ 12月13日(金)~16日(月) ・ 12月19日(木)・議会運営委員会 ・ 全員協議会 ・ 本会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般質問 ・ 12月10日(火)~11日(水) ・ 12月10日(火)~11日(水) ・ 総括質疑・付託 ・ 提出議案の説明 ・ 市長行政報告 ・ 会期の決定 ・ 会議録署名議員の指名 ・ 本会議 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月29日(金)・議会運営委員会 ・ 全員協議会 ・ 12月6日(金) ・ 開会 |
|---|--|--|--|



倉嶋市長の行政報告

バイオマスセンター建設中止 公共施設は適正配置計画の策定を目指す

施政運営の基本姿勢

バイオマスセンター建設事業は、いったん凍結して検討してきましたが、バイオマスセンター建設事業検討委員会からの具申内容や諸事情を勘案し、熟慮に熟慮を重ねた結果、地方交付税が減っていく中で、行政サービスの厳しい取捨選択が避けられないことから、止むを得ず中止の判断をしました。バイオマスセンター建設予定地の方々や関係する市民の皆様に対して早急に説明会を開催し理解を求めてまいります。

おもな事業の状況

1 石和温泉駅
周辺整備事業

南北自由通路・駅舎改築工事に向け、市の関係者や工事関係者により11月に安全祈願祭が行われ、現在は仮駅舎工事が行われています。騒音対策など周知徹底に努めるよう、JR東日本関係者には、指示しています。

3 本庁舎等
耐震・改修事業

11月末における進捗率は約45%。今後も周辺住環境の保全、通行者の安全確保を図っていきます。26年5月までの間、ご不便をおかけしますがご理解ご協力をお願いします。

2 トップセールス

10月に台湾でトップセールスを実施、世界文化遺産「富士山に近い笛吹市」の魅力を伝え、修学旅行等の教育旅行の宿泊地として、立地の良さをアピールしてきました。

4 境川町寺尾地区
ごみ処理施設関係事業

用地買収、埋蔵文化財調査もほぼ完了し、29年4月の供用開始に向け、施設本体の建設準備を進めています。また、施設整備に関連して進める地域振興事業や周辺整備事業については、地元自治体として

国の交付金制度を取り入れながら、関係自治体と連携を取り事業を推進していきます。

5 子育て支援事業

やまなし子育て応援カード事業の制度が改正され、対象世帯が18歳未満の子どもがいる世帯および妊婦がいる世帯にまで拡大されました。約7,000世帯が対象で、新聞やホームページ、広報などで周知を行っていきます。

6 保育所施設

石和第五保育所新園舎が、25年度山梨県建築文化賞の建築文化奨励賞を受賞しました。「公共建築物等の部門」と「良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門」の二部門で受賞しました。

7 国民健康保険事業

被保険者の急速な高齢化や医療技術の高度化で保険給付費は年々増加し、極めて厳しい財政運営を強いられている現状です。保健師による指導事業の充実に取り組むなど、なお一層の医療費抑制に努めていきます。

8 国民文化祭

市主催事業には、5事業合計で延べ21、254人が市内会場を訪れました。作品投稿数では「現代詩の祭典」が6、465篇、「文芸祭俳句大会」は当日投句を合わせて2,6439句と、昨年開催の京都大会の記録を上回ることできました。

9 公共施設白書

旧町村毎に類似施設が複数存在し、建築後30年を経過した建物が40%以上を占めるため、老朽化対策などの検討が必要とされます。適正配置計画の策定に向け、取り組みを進めていきます。

12月定例議会における倉嶋市長の施政方針を要約したものです。

— 地方自治法第100条に基づく —

工事入札に関する

調査特別委員会設置

笛吹市議会は、さる11月25日に開催された臨時議会において、地方自治法第100条に基づく調査特別委員会の設置を、決議しました。
本調査特別委員会（いわゆる100条委員会）設置理由は次のとおりです。



工事入札調査特別委員会

これまで倉嶋市長のもとで執行された大規模な工事にかかわる入札に対し、平成25年笛吹市議会第3回定例会で、その不透明さについて多くの疑義が出された。

代表質問・一般質問、そして総務常任委員会でも取り上げられるなか、工事入札は多くの市民の注目するところとなった。しかし、入札執行に対する市の説明は、市民の納得するような十分な答弁は得られなかったと言えない。

何より、今回のような入札の不透明さにかかわる疑義に対し、議会の権能を十分発揮する中で、事実を明らかにしていくことが重要である。

よって、今回の入札の不透明さにかかわる疑義に対し、市民の納得のいく説明を得るには、議会は地方自治法第100条に基づく調査特別委員会を設け、関係者の出頭および証言ならびに記録の提出の請求ができる権限を有する必要がある。これが本議案を提出する理由である。（これが本議案（工事入札の調査に関する議決より））

委員会構成メンバー

- 委員長 野澤今朝幸
- 副委員長 上野 稔
- 委員 志村 直毅
- 北嶋 恒男
- 海野利比古
- 神宮司正人
- 小林 始
- 中川 秀哉
- 渡辺 正秀

100条委員会の これまでの経緯

第1回特別委員会開催（11月25日）
正副委員長の選出

委員長 野澤今朝幸
副委員長 上野 稔

第2回特別委員会開催（11月29日）
調査対象工事の選定

平成24年12月4日～25年11月30日までに入札告示された工事で、予定価格1、000万円以上の工事。

第3回特別委員会開催（12月12日）
調査対象工事の絞り込み

御坂浄水場関係・学校関係・本庁舎改修関係および高落札工事・最低制限価格と同額落札工事・公告内容が変更された工事等から22工事をさらに選定。

第4回特別委員会開催（12月27日）
入札執行の全体的な流れの確認
総務部管財課より説明を受け質疑。

第5回特別委員会開催（1月14日）
御坂浄水場土木・建築工事入札に関する証人喚問の議決

平成25年12月定例議会提出案件一覧表

(前島敏彦議長を除く)
賛成 反対

種別	案 件 名	笛新会					笛政クラブ				誠和会			公明党		日本共産党	結 果						
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄	志村直毅	小林始	中村正彦	古屋始芳		梶原清	中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	渡辺正秀	亀山和子
条例制定改正	<ul style="list-style-type: none"> 子ども子育て会議設置条例の制定 税外収入金に係る督促手数料及び延滞金徴収に関する条例等の一部改正 ひとり親家庭医療助成に関する条例及び笛吹市男女共同参画推進条例の一部改正 定住促進住宅条例の一部改正 火災予防条例の一部改正 																						可決
補正予算	<ul style="list-style-type: none"> 一般会計補正予算（第3号） 																						可決
	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険特別会計補正予算（第3号） 介護保険特別会計補正予算（第3号） 																						可決
	<ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 																						可決
	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道特別会計補正予算（第3号） 簡易水道特別会計補正予算（第2号） 水道事業会計補正予算（第3号） 春日居地区温泉給湯事業会計補正予算（第3号） 																						可決
その他	<ul style="list-style-type: none"> 変更契約の締結（本庁舎耐震改修建築本体工事） 市道廃止 																						可決
	<ul style="list-style-type: none"> 市道認定 																						認定
人事	<ul style="list-style-type: none"> 新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会議員の選挙 																						選挙
	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会委員の任命 																						同意
請願審査	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者への肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める請願 																						採択
	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県に対して、重度心身障害者医療費助成制度の窓口無料の維持を求める意見書を提出することを求める請願 																						採択
議員発議	<ul style="list-style-type: none"> 重度心身障害者医療費助成制度の窓口無料の継続を求める意見書 																						可決

平成25年第2回臨時議会提出案件一覧表(11月25日) (前島敏彦議長を除く) 賛成 反対

種別	案件名	笛新会					笛政クラブ			誠和会		公明党		日本共産党	結果									
		北嶋恒男	野澤今朝幸	海野利比古	保坂利定	岩沢正敏	神澤敏美	荻野謙一	神宮司正人	上野稔	前島敏彦	大久保俊雄	志村直毅	小林始		中村正彦	古屋始芳	梶原清	中川秀哉	渡辺清美	川村恵子	渡辺正秀	亀山和子	
人事	・固定資産評価審査委員会委員の選任																						同意	
議員発議	・事務調査に関する決議案									議	長													可決

人事

臨時議会(11月25日)

12月定例会

12月定例会

固定資産評価審査委員会委員に古屋氏、樋口氏、村松氏の3名を同意

新倉外三字施業区恩賜県有財産保護組合議会議員4名が市議会の選挙により当選

教育委員会委員に相川氏を同意

古屋 典男(67歳)
一宮町上矢作

宮川 榮(81歳)
芦川町鷺宿

相川 幸夫(70歳)
春日居町桑戸

樋口 力(66歳)
八代町南

宮川 武久(75歳)
芦川町鷺宿

任期は平成26年1月1日から4年間

村松 日出男(65歳)
御坂町竹居

宮川 正夫(66歳)
芦川町鷺宿

任期は平成25年11月30日から3年間

宮川 良平(62歳)
芦川町鷺宿

任期は平成25年12月27日から4年間



用語解説
固定資産評価審査委員会とは

固定資産評価審査委員会は、市町村に置かれる行政委員会で、その職務は法律の定めるところにより、市町村長とは独立した中立的・専門的な立場から、固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査および決定その他の事務を行うことである。

(年齢は議決日となります)

意見書

「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の継続を求める意見書(要旨)

山梨県は、重度心身障害者医療費助成制度における窓口無料を2014年11月から廃止し、自動還付方式に変更するとしています。

同制度は2008年子ども医療費やひとり親世帯の医療費と同時に導入された全国に誇ることのできる山梨県の制度の一つです。自動還付方式では、約3カ月経たないとお金が戻らないため、精神的にも、金銭的にも大きな負担となります。障害が重度になればなるほど、働くことでも

きず経済的困難を抱え、加えて様々な手続きも家族に頼らざるを得ない状況です。この見直しは最も困難を抱える低収入、無収入の障害者にさらなる負担を生じさせるものです。医療費の上昇を抑えるためとして、国が課す窓口無料に対するペナルティこそ廃止すべきと考えます。

千葉県では2015年度から窓口無料化を実施すること
を森田知事が9月県議会で表明しました。「障害者との共生や自立を促す」国や県の方針を実行するためにも、同制度の現行のままの継続を望みます。

【要請項目】

「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料を現行のまま継続すること。

平成25年12月19日

笛吹市議会

議長 前島敏彦

山梨県知事 横内正明 殿

請願

高齢者への肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める請願(要旨)

【趣旨】

肺炎は日本人の死亡原因の第3位を占める重大な疾患です。平成23年、笛吹市では718人の死亡者中72人が肺炎であり、死亡原因の1割を占めています。肺炎は高齢者になるほど重症化しやすく、肺炎で亡くなった方のほとんどが高齢者であり、今後、さらに増加することが予測されます。

円10,000円と高額のために接種を控えている現状であります。高齢者の健康を守るために、笛吹市でも早期に助成が実現する事を望みます。

【請願事項】

高齢者への肺炎球菌ワクチンの公費助成を行ってください。

平成25年12月19日

笛吹市議会

議長 前島敏彦

笛吹市長 倉嶋清次 殿

一方、市中肺炎のなかでも最も多いのが肺炎球菌性肺炎です。従来、肺炎球菌性肺炎の治療には抗生物質が有効とされてきましたが、最近では抗生物質が効かない薬剤耐性菌が増加しており、特にワクチンによる予防が重要視されています。

このような高齢者の肺炎の多くを、肺炎球菌ワクチンを接種することにより高い確率で予防することができます。しかし自己負担が7,000

12月
定例議会

市民の声

一般質問

12月定例議会では、13人の議員が一般質問に立ち、市の考えをたどりました。以下は質問と答弁を要約したものです。



一般質問

問 学校の天井等の落下防止対策は

答 国の基準に照らし実施する



渡辺清美議員
(公明党)

渡辺清美議員 落下防止対策として、天井撤去、補強・耐震化、撤去・再設置、ネット設置が考えられる。文科省は安全性と費用を勘案し、撤去を中心とした対策を促している。市の今後の方針は、**堀内常雄教育部長** 市には天井板のある屋内運動場等が5棟ある。目視・図面等による点検は終わった。今後は、実地診断し対策を講じる。天井板以外の落下物等から子どもたちを守るため、普段からの点検について各学校に徹底を図っている。

問 自治体による婚活支援で少子化対策の推進を

渡辺議員 内閣府は、地域の実情に応じた少子化対策を進めるため、全国の自治体からプランを公募し、モデル的取り組みを選定する予定だ。

意識啓発、結婚等の相談・支援体制整備などがポイント。本市の婚活の現状と今後の対策は。

答 出合いの場づくりに努める

前田一貴市民環境部長 市は結婚相談所を設置し、相談員14人を委嘱している。

登録者は25年11月現在、男78人、女21人で、結婚退会が1昨年、昨年ともに8人あった。月2回の相談会を開設し、今年度は3回の出合いイベントを計画、実施している。第1回は、8月に芦川町で新鮮野菜の収穫体験・バーベキューを行い男女各20人が参加、8組の交際が成立した。2回目は「クリスマス料理の後は縁結び&足湯でホッと」を12月1日に開催、各16人が参加、5組のカップルが成立した。2月に3回目を予定している。今後は、国の支援策の動向にも注視し、相談員との連携を図り、登録者に県内の各自治体や市内の民間団体が行う婚活イベントへの参加を促すなど、支援に努めていきたい。

問 石和温泉駅舎建て替え事業は

答 安全性、利便性に留意する



神澤敏美議員
(笛新会)

神澤敏美議員 平成27年3月までに完成できるのか。
駅舎と周辺環境を適合させる「和風」のイメージとは。

南北自由通路は高齢者の安全に配慮しているのか。
JA岡部支所の要望への対応は。
北口広場の駐車場、駐輪場は。
大蔵経寺山周辺への文化遺跡散策道路計画は。

仮駅舎利用時の安全対策は。

斉藤寿建設部長 11月に仮駅舎建設に着手、27年の3月開始を目指す。

外観に木製縦格子を設け、駅利用者に駅内外を緩やかにつなぐ縁側をイメージした和風の演出を施す。

「高齢者、障害者等の移動円滑化促進法」に則した市条例に基づき、自由通路は設計している。

隣接するJAからの事業推進協力

の要望であり、協議していきたい。

ロータリーと歩行者空間を整備し、東側に設置する。駐車場は一般用17台、身障者用2台、駐輪場は128台分を確保する予定。

マップ作成、ガイドの研修、登山道整備、トレイルラン大会を計画。

施工者のJR東日本に対し、安全対策を申し入れている。

問 26年度桃源郷春まつりは

神澤議員 春まつりが一本化される。

地域の伝統文化の継承は。

継続事業にならないか。

少予算で地域活性化を図れないか。

答 7つの町で協力開催する

風間和仁産業観光部長

全市が一

体となって盛り上げ、観光客にもアピールしたい。

各地域の伝統文化は尊いと認識している。

イベント以外も多角的に取り組み活性化できるように検討する。

問 新年度予算における倉嶋カラーとは

答 総合計画をベースに組み立てる



大久保俊雄議員
(笛政クラブ)

大久保俊雄議員 倉嶋市政も1年を経過した。リーダーシップが期待される。

新年度の重点施策と具体的計画は「合併算定替終了に伴う財政対策

連絡協」で何を訴えるのか。行革・

体質強化の方策と課題は。

国の経済対策、新制度等の情報収集と予算獲得の取り組みは。

地域社会経営の観点からの、総合的産業政策は。

事務事業評価の活用は。

倉嶋清次市長 「桃源郷のまちづくり」をスローガンに、観光、農業暮らしの安心、子育て環境等に絞り込む。

人口規模だけでなく面積、人口密度等を重視した交付税の算定となるよう、大幅な見直しを要望する。

公共施設のあり方が重要課題。市民参加で事業を見直す。

県から詳細情報を収集、国の経済

対策等を活用し、メリットを生かす。

人口増加こそが最大の産業政策だ。農業支援、観光の活性化を重点に、富士山世界遺産登録、オリンピック開催、リニア開通などあらゆる機会をとらえて施策を展開したい。

次年度に向け、優先度会議を行っている。

バイオマスセンター建設

問 に関する最終結論は

大久保議員 検討委員会での議論は十分尽くされたと考えるか。

検討委員会の具申書の扱いは。

市民・予定地関係者への説明と手法は。

答 建設中止を決断した

倉嶋市長 視察を含め8回開催。追加資料も用意、議論は尽くされた。

年3、600万円の負担増の答申内容を重く受け止め、中止の結論を出した。

予定地の関係者には早期に説明会を実施し、広報等で市民に説明する。

09 笛吹市議会だより No.37

問 石和富士見地域に児童館を

答 「子ども・子育て会議」で検討



亀山和子議員 (日本共産党)

亀山和子議員 20数年前から、児童館の建設が求められている。

地区内の18歳までの児童数は、石和町時代からの要望の経過は。今後、建設する考えは。

山下真弥保健福祉部長 10月末現在、2、318人で地区全体の20%。昭和55年、富士見小学校PTAに児童館特別委員会設置。結論を得ぬまま59年に解散。平成5年12月、定例会に小中5校のPTAが設置請願書を提出。6年12月請願採択。8年、事業計画に10年度の設置が明記されたが実現せず、11年3月、エンゼルプランを踏まえ取り組むとの町長答弁。15年9月、公民館利用による実施の答弁。合併後、17年12月、富士見・石和西小、18年2月、石和第四保育園から建設要望書提出。11月の検討委員会中間報告、建設と教室利

用の両論併記。19年11月、富士見地区検討委員会で、放課後子ども教室推進事業との連携を図ることとし委員会の休止を決定。20年4月、放課後子ども教室開始。

市民ニーズ調査等を踏まえ、「子ども・子育て会議」で検討する。

問 通学路の安全確保は

亀山議員 昨年、全国各地で登校中の児童に暴走車による事故が相次いだ。山梨県通学路交通安全対策実施計画の本市での進捗は。

今井区のパチンコ店出店で通学路の安全は守られるのか。パチンコ店出店に対する認識は。

答 早期に対策を講じる

堀内教育部長 9月末、対策済み21カ所、今後の予定が20カ所。開発者に対して、開発指導を行うと同時に、安全対策を強く要望。パチンコ店に限らず施設開発で児童の安全確保を最優先に対処したい。

問 「行財政改革」の見直しは

答 交付税縮減に対応し取り組む



渡辺正秀議員 (日本共産党)

渡辺正秀議員 合併後、箱物行政と「官から民へ」の行財政改革が進んだ。結果、市民負担と不便が増した。市の認識は。

正職員の削減で人件費が減少する一方、委託料、指定管理費等の物件費が増えることについての考えは。指定管理導入施設には市民の評判が悪いものが多い。指定管理者として経営戦略があるのでは。支所機能の縮小は憂慮すべきでは。32年度以降予想される財政困難に対する危機意識が希薄ではないか。

芦澤栄経営政策部長 特例債は市民の合意を得て、今後も活用する。交付税の段階的縮減に対応し、歳出削減主体の改革となっている。職員数適正化と組織のスリム化・アウトソーシングを同時に検討する。18年から24年度まで約5億円の

ストを削減。検証を重ね推進する。必要な事務事業を検討していく。議員提言等に傾聴の上、市民合意をいただきながら、対処する。

問 行革路線に基づく人事政策の見直しは

渡辺議員 職員の地域担当制を導入する考えは。業務の進め方と改善の考えは。職員減・支所弱体化、現場重視は。非常勤職員が正職員の4割になった。正規職員化、時給の改善は。職員が誇りを持って業務に当たれるよう、市長として鼓舞してほしい。

答 市民目線で対処する

荻原明人総務部長 協働のまちづくりの有効な手段として検討する。経営改革を進めながら、市民目線の施策展開を行う。県や近隣自治体の動向等を勘案し検討。住民福祉向上と市の将来に向け、全職員一丸となって取り組む。

問 こみのポイ捨てと不法投棄は

答 常時きれいな状態こそが抑止力



川村恵子議員
(公明党)

川村恵子議員 道路沿いや河川に、容器等のごみが目立つ。

市の基本計画に、ポイ捨て禁止条例制定、防止策の検討とあるが、現状は。

市民一斉のごみ拾い運動を展開する考えは。

捨てづらい環境づくりの取り組みは。

前田市民環境部長 規制的法整備はできている。新たな条例制定よりも、ポイ捨てしにくい環境整備、看板設置、パトロール等に努める。

特定の日だけでなく、地域性・自主性を重視した、行政区等の取り組みに対する支援を継続していきたい。常にきれいな状態が保たれていることが、ポイ捨て防止にはもつとも有効。児童生徒に対する環境教育にも努めたい。

問 市民生活を守る防災安全対策は

答 地域の実状に対応する



中川秀哉議員
(公明党)

中川秀哉議員 大規模地震などから命を守るための投資、地域の特性を踏まえた防災安全対策を伺う。

自主防災組織の育成、定期的地域訓練の実施への支援は。

全市指定避難所を使った避難訓練の早期実施は。

橋を渡らずにすむ避難所を。石和南小学校周辺道路の空き家不燃化等の安全対策は。

スタンドパイプ導入等による、初期消火体制の向上は。

避難路安全マップの作成は。

帰宅困難者のための「災害時帰宅支援ステーション」の定着と普及は。要援護者支援体制の見直しは。

ペットの同行避難の整備は。

荻原総務部長 地域の研修会や訓練など自主的活動に対し、職員派遣や経費への支援をしてきた。今後は

行政区だけでなく、隣組などの小規模な単位での自主防災組織の育成にも努めたい。

行政区役員による避難経路確認だけでなく、避難所運営のための実践的訓練が必要だ。検討したい。

指定避難所への避難には、笛吹川や金川など、大きな河川を渡る必要がある地域が数カ所ある。状況に応じた避難所の対応を検討したい。

狭小道路は法律に基づき指導を行い安全確保に努める。

スタンドパイプは消防団の車両に配備されているが、各地の状況を見て増設の検討を行う。

指定避難所周辺の安全施設も、地区の自主防災マップに表示し周知できるよう作成を支援していく。

県が日本フランチャイズチェーン協会の10社393店舗と協定し、帰宅困難者支援を行うこととしている。

福祉避難所を8カ所設置。民間施設とも昨年までに23施設、今年度17施設と協定を締結している。

えさの準備、伝染病防止など必要な措置を講じる。

答 関係機関と連携を強める

警察、金融機関等と連携して対応する仕組みは。

本市としての防止対策は。

本市の被害件数、金額、詐欺の内容は。相談件数は。

問 振り込め詐欺対策は

川村議員 平成25年度上半期、振り込め詐欺は前年対比で、件数・金額ともに増加している。

振り込め詐欺は前年対比で、件数・金額ともに増加している。

振り込め詐欺は前年対比で、件数・金額ともに増加している。

荻原総務部長 24年5件約49.5万円。25年は現在3件、約34.8万円

円で内容は還付金詐欺2件、おれ詐欺1件。相談は2件、警察に連絡した。

広報2月号に記事掲載。4月から11月、延べ16回、防災行政放送で注意を喚起した。

笛吹警察署から、管内で事案発生との連絡を受け次第、放送で告知している。多様化する手口に迅速に対応するため、連携し被害抑制に努める。

問 子ども・子育て支援は

答 26年度に事業計画を策定



志村直毅議員
(笛政クラブ)

志村直毅議員 27年度からスタートする子ども・子育て新支援制度で、本市の支援施策はどう変わるのか。
市民ニーズの把握、公表、活用は、「会議」設置に向けての方針、保護者や当事者、公募等による参画は、次世代育成支援行動計画の検証は、これまでの「保・幼・小・中・高連携」の成果は。
事業計画策定のスケジュールは、障害児施策の充実等、国の基本方針に対する本市の方向性は。
山下保健福祉部長 「子ども・子育て会議」で検討し、26年度中に策定する事業計画で具体化する。
10月と11月、調査を実施。概要はウェブで公開し、事業に活用する。地域特性、委員の人選に配慮する。関連14事業の進捗度・課題は毎年公表している。

教師・保育士相互の授業参観、出前授業等で共通理解が深まった。10月をめどに計画案を策定し、26年度末には確定したい。障がい児の利用などに配慮したい。

問 総合計画後期基本計画は

志村議員 前期計画から達成目標指標を変更した施策の議論内容は、行政区の自主防災マップ100%整備への取り組みは。
障害者支援の相談内容や件数、基幹相談体制の整備で変動あるのか。交付税減を想定した財政指標か。

答 審議会を経て策定した

芦沢経営政策部長 観光客数、宿泊客数、誘致件数、新規就農者数等に絞り込んだ指標を設定した。
29年度に全行政区で完備したい。福祉サービス、不安解消、人間関係等多岐に渡る。23年度5、066件。經常収支比率は24年度決算を基に設定、交付税減は見込んでいない。

問 リニア中央新幹線対策は

答 地元要望を強力に伝えたい



岩沢正敏議員
(笛新会)

岩沢正敏議員 本年9月、リニア中央新幹線のルートが発表された。笛吹市内では、境川町前間田地区まで実験線が建設され、上野原市から42・8kmの走行試験が始まっている。

営業線はその続きから境川町内4地区を通過し、甲府市大津町のリニア甲府新駅に向かう。境川町を横切る形で名古屋に向かうが、沿線住民は安全と安心が確保されるのか不安を感じている。将来を見据えた対策が望まれる。
走行試験が行われている実験線の地元対策は。
営業線について、境川町内に設置されている、リニア対策委員会ならびに地元要望事項への対応は。
リニアを担当する部署を新設する必要は。

斉藤建設部長 トンネル掘削に伴う残土処理場の活用については、所有者の山梨県に対し、土地利用計画の内容等を早急に決定し、地元への説明を要望している。外周道路の整備は、県から鉄道運輸機構が工事の委託を受け、平成26年1月ごろに工事が決まり、地元説明会を開催する予定と聞いている。

その他、残土搬入路の舗装の打ち換えを始め、地元からの各種の要望に対して、山梨県、JR東海、鉄道運輸機構へ強く働きかけている。今後も、早急な対応を強く要望していきたい。

環境影響評価準備書の縦覧が終了し、現在、準備書に対する意見の概要書等を縦覧している。今後は、公聴会等が開催され、国の認可後に事業が本格化すると予想される。用地買収等が予定される中、地元の要望等に対応するためにも、実験線と同様に、営業線においても担当窓口が必要と考えている。県と関係市町と連携をしていきたい。

問 渋川排水機改修の進捗状況は

答 国に補助を要望している



荻野謙一議員
(笛新会)

荻野謙一議員 富士見地区の排水機改修はどこまで進んだのか。県との対応、進捗状況は。

進まない原因は。明確に。

荻野建設部長 9月議会後も山梨県と協議し、26年度の国庫補助事業として、調査設計費を要望している。事業完成は28年度を予定。

問 市税などの滞納対策は

荻野議員 希望のある新市を思い描いて5町2村が合併した。9年が経過し、「みんなで奏でるにぎわい・安らぎ・きらめきのハート」の夢はあるのだろうか。これからの笛吹市が良くなるためには、公明・公正・公平な市民対応が避けては通れない重要な問題だ。合併後の不納欠損額、5年時効額の合計は。滞納金額の明細は。

市税・国保税・その他未納金問題をどうとらえているのか。未納問題の今後の具体策は。

答 額が膨らまない段階で対処する

荻原総務部長 16〜24年度までの9年間合計で約22億5千万円。このうち5年時効により不納欠損とした額は約7億円。24年度末の滞納は市民税3億円、固定資産税9億4千万円、軽自動車税2千2百万円、入湯税1千5百万円、都市計画税3千7百万円、合計約13億円。国保税は不納欠損約9億円、うち5年時効分が3億3千万円で、24年度末7億8千万円の滞納。公平性を著しく損なうものと認識している。滞納金額が大きくならないうちに「きめ細かな財産調査」を行い、差し押さえによる強制徴収を実施し、支払い能力がないと判断した場合は執行停止とし、3年で不納欠損とするなど法律に基づいた滞納整理を強化する。

問 道路整備で通学路の安全確保は

答 関係機関と連携・協力し対応



神宮司正人議員
(笛新会)

神宮司正人議員 市内通学路の一点検をしたが、市内学区の危険箇所の子エック状況と、今後の対策は。特に御坂西小学校の西側を南北に走る市道は、幅員も狭く近隣住民や子どもたちは危険と隣り合わせだ。

堀内教育部長 小中学校の対策必要箇所22力所を、関係者立会いで合同点検を実施し、警察署や道路管理者からの技術的な助言を参考に対策案を作成した。今後は関係機関と連携・協力し対応していきたい。

御坂西小学校通学路の八千蔵交差点は、県の改良事業で26年度に整備し、市道分も交差点から50mの区間で1・5mの路肩を歩道として利用できるよう拡幅整備を予定している。夏目原・井之上・金川原の3行政区を中心に、行政や学校・各種団体等が連携・協力し、実現に向けた努

力を継続的に行っていきたい。

問 新御坂トンネル天井板撤去対策は

神宮司議員 笹子トンネル天井板崩落事故を踏まえ、国道137号線のトンネル天井板撤去工事で40日に及ぶ全面通行止めになり、観光施設や地域住民に多大な影響が出る。県主管の工事だが、市の対策は。

答 連休直後の着工を要望

荻野建設部長 県主催の「新御坂トンネル天井板撤去工事連絡調整会議」で本市、郡内関係市町、警察、消防やバス・トラックの各種協会等の代表者が参加し、協議を進めている。県知事から、26年5月26日〜6月30日に全面通行止めによる工事を行うことが発表された。市としては観光への影響を考慮し、連休終了直後からの着工に変更するよう工事期間を知事に要望する予定。迂回路の安全確保、案内対応についても要望している。

問 地域振興促進助成事業は

答 すべての事業で目的達成



中村正彦議員 (誠和会)

中村正彦議員 合併特例債の中で、地域振興のため40億円以内の借り入れができ、それを地域振興基金として積み立て、基金の運用益を活用して地域振興促進事業を行っている。19年度から25年度までに交付した事業内容は、事業団体数と交付額、上限額100万円を交付した事業内容と団体は、3年間の交付で結果の出ている事業、未継続事業、効果が表れなかった事業は、事業報告会を毎年開催しているが、発表できない団体の公表は、応募のあった事業内容を審査するメンバーと、審査基準は、前田市民環境部長 地域づくりに取り組む市民活動を支援する助成事業で、25年8月末現在で延べ71団体・152件、4、230万円。事業内

容は地域自治組織では、地域防災マップ作りや地区文化祭、NPO関係では、中学生育児体験講座や伝統芸能学習会、地域伝統関係では、文化財や地域伝統芸能の保存継承、PTA関係では、大人のあいさつ運動や標語カレンダー作成などとなっている。上限額100万円を交付した団体は7団体あり、事業内容は、地域活性化任意団体による「文化事業」「福祉事業」「まちづくり事業」など。同一事業継続期限は3年間だが、すべての団体に3年間助成金を交付するわけではない。事業効果は毎年実績報告会を開催し報告しているため、すべての事業で当初目的を達成できたと考えている。毎年、助成金交付団体のすべてが参加し発表している。現在は庁内委員のみ、改めて市民委員の公募を予定。審査会では、助成金申請団体の説明と質疑を行い、団体の社会貢献性などと合わせ、目的・公益性等を審査し交付を決定している。

問 倉嶋市長一年の総括は

答 課題・方向性示し前進する



古屋始芳議員 (誠和会)

古屋始芳議員 昨年の市長選挙で2万3千人の市民の支持を得て当選し、就任してから1年が経過した。公正・公平で透明性の高い市政を推進するとの公約だ。市長就任後1年経過しての率直な感想は、選挙公約の大型施設整備構想凍結は、議員全員協議会で公約違反といわれても仕方がないという発言もあった。中止・凍結・継続の各事業の進捗状況を聞きたい。笛吹農業ビジョンの立案で実行する農業と、温泉を生かした観光振興の検討会の結果と具体策の見通しや、各種福祉計画の具体的な施策の状況、地域防災計画をはじめとする市民を守る防災対策の具体的な施策は、市の将来のまちづくりの方向性についてのは、あつという間の1年間

で、「何ができたかなあ」という思いもある。課題や問題点も分かってきた。2年目に向け、整理した課題と方向性を職員や議員、市民に示し、力強く、まちづくりを進めたい。バイオマスセンター建設事業は、熟慮を重ねた結果中止とした。石和温泉駅は27年3月の完成を目指し、仮駅舎の建設に着手、砂原橋はすでに上部工架設工事を発注し、27年度の完成を目指している。完成後はそれらの施設を最大限活用していく。果樹を中心とした農業と良質な温泉は、市が全国に誇れる観光資源で、笛吹ブランドとして確立し、相乗効果を高めることが、観光地としての魅力増につながる。また、安心して生活できる環境整備や大規模災害への備えも重要と考えている。市の基幹産業である農業、観光の発展で地域経済の活性化や、災害に備えた安全で暮らしやすいまちづくり、訪れたい住みたくなるまちづくりを目指し、市民の皆さまとともに取り組みを進めたい。

教育厚生常任委員会

教育施設老朽化対策への 現地視察を終えて(報告)

10月11日(金)

平成25年10月11日、教育委員会職員同行のもと、生涯学習施設2施設(青楓美術館、釈迦堂遺跡博物館)、学校教育施設3学校(浅川中、一宮西小、石和北小)を現地訪問し、それぞれの管理者等から施設全体の経年劣化や、安全面・機能面での不具合などについて説明をいただきました。

生涯学習施設からの要望では、貴重作品などの保管場所、展示場所の



釈迦堂遺跡博物館

増設。体験学習、会議室等の新たな利用者側の立場にたった学芸員の前向きな思いが感じられる内容が多くありました。

また、学校施設からは、現在、笛吹市内の小中校舎は建築後、30年以上経過しているところが多いとあり、子どもたちの安全確保はもちろんのこと、非常時には地域住民の避難場所にもなっており現地での説明を真剣に伺いました。

また、学校での老朽化による不具合にも先生方の細かい配慮で乗り切っている様子を伺うこともできました。しかし、そのような中でも、これだけは行政側をお願いしたいというところもいくつか伺うことができました。当面は、財政難の現状の中では、大きな老朽化対策は望めそうもないと思いますが、不備なところは早期に一つ一つ改善していくことを優先せざるを得ないと思いました。

総務常任委員会

総合計画策定委員会との 意見交換会

10月11日(金)

総務常任委員会では、今年度から計画期間がスタートした、市総合計画後期基本計画の策定に関わった皆さんと意見交換を行いました。

意見交換会には、策定審議会の熊谷会長をはじめ、審議会委員、ワークショップに参加した方など7人にご参加いただき、策定における議論やご意見などをお聴きしました。

市の良さを広めていく、地域活動に積極的に関わっていく、市民と議員とイコールでつなぐ、などのご提案もいただく中で、議員からもそれぞれの考えなどをお話ししました。

総合計画は中長期的な視点で策定されるものであり、市民の理解や参画が必要とされ、議会と市民との懇談や、市民協働の機会を通じて合意形成を図っていくことの大切さを、共有することができたと思えます。



総合計画策定委員会意見交換会

教育厚生常任委員会

かずさDNA研究所視察

10月28日(月)



かずさDNA研究所

千葉県木更津市にある「かずさDNA研究所」を視察研修しました。ここは、バイオテクノロジーを中心とした研究開発拠点になっていて、植物ゲノム研究では国際的評価が高いと言われています。

私たちは日ごろ「DNAって何だろう」と関心はありますが

建設経済常任委員会

千葉県水道局・柏井浄水場視察

10月29日(火)

千葉県水道局柏井浄水場を視察研修しました。柏井浄水場は千葉県、市川市、船橋市など約200万人に給水し、利根川と印旛沼を水源とした県下の浄水処理施設です。

印旛沼からの取水では夏場のカビ臭などの対策として「おいしい水」をつくるために、オゾン処理と粒状活性炭処理を併用した高度浄水処理を導入していました。そして、おいしい水をおいしくいま届けるために、古い水道管を計画的に取り替えたり、洗浄したり、塩素量を減らす方法など、いろいろの施策を学ぶことができました。

そこで、今回の柏井浄水場視察研修により、笛吹市の御坂浄水場計画との比較について考えてみると、御坂浄水場計画は、広瀬ダムから直接取水して発電所を通り調整池に落とすので、途中の汚染源はないので水量・



柏井浄水場

水質が安定していること。浄水処理施設、維持管理費なども節約でき、塩素注入量も少なく、原水単価は低く抑えられることになり、自然に恵まれたおいしい飲料水が、将来まで確保できることのありがたみを再認識できた研修会でした。

総務常任委員会

議会の災害時対応など視察

11月5日(月)
～6日(火)

福島県会津若松市議会と埼玉県越谷市議会を訪問し、議会改革と、議会における災害時の対応について調査しました。

会津若松市議会では、議会基本条例を制定し、市民との意見交換・議員間の討議を活発に行い、予算・決算委員会を議員全員（議長除く）で構成しているなど、議会改革に積極的に取り組んでいます。



会津若松市行政視察研修

同市議会の目黒章三郎議員は、「市民参加を基軸とした政策形成サイクルの確立と実践によって、積極的な政策形成を行い、まちづくりに貢献していく」ためとしていると説明。

市政発展への貢献が議会の使命であり、議決責任を重視する。それには市民との意見交換によって市政の問題を発見し、議会で議論を深め、課題設定・政策形成へとつなげていくというプロセスを基本にしているとのこと。委員からも活発な質疑があり、多くの示唆を得られた研修となりました。越谷市議会では、平成23年に議会として災害対策・震災対策に取り組むことを決め、「越谷市議会における災害発生時の対応要領」などをまとめました。

これは、災害時に市の対策本部と連携して、災害対策活動の支援や、議員の迅速かつ適切な対応を行うためのもので、大規模地震発生時における初動時の議員参集訓練を行うなど、策定後も対応の改善を図っています。

また、台風等風水害時の対応マニュアルも作成し、市全体の災害対策が円滑に行われるよう、議会も支援や備えに努めています。

研修を通じて、今後想定される南海トラフや東海沖の大規模地震、風水害等への対応など、議会としての取り組みの必要性を考えさせられました。なお、視察の2カ月前に竜巻被害もあったことから、越谷市に対してお見舞いを申し上げ、義援金をお渡ししました。

議員研修会

行政評価研修

平成25年度の議員研修は「行政経営システム構築における議会の関与検討会」を行政経営(株)の講師により、11月14日に実施しました。

本市が平成19年度から施策評価・事務事業評価での施策の目標達成度や、評価に基づく経営方針策定・予算編成に取り組んでいるシステムです。

そのため議会でも、この行政評価システムを研修することにより、市が掲げる政策や個別の施策、事務事業について、効果や達成度などを市民の立場から検証し、将来的には決算認定や予算審議に生かすための研修として行いました。

研修では4班に分かれて市が実施した個別の事業について、各班別に事

業の内容・目的と実績の確認を行い、評価結果と総括、今後の方向性について班別発表して、研修を終了しました。

今回の演習した事業の評価結果は、市の評価と議員の評価が異なり、議員一同、今後も施策評価研修の継続と議会での導入の必要性を感じたとこ



議会でも施策評価導入を

総務 常任委員会

12月13日、16日の2日間
委員会を開催。付託された
条例の一部改正3件、一般
会計補正予算1件、変更契
約の締結1件の計5件を審
査し、賛成全員でいずれも
原案の通り可決すべきもの
と決した。(ただし変更契
約の案件は付帯決議された)
主な質疑答弁は次の通り。

総務部所管

「補正予算」

Q 個人市民税の現年課税
分の減額は、調定額として
どのくらい下がったのか。

A 当初調定額は29億2、
800万円の見込みだが、3、
4%程度の減額見込み。

Q 産業医報酬の業務内容と
委託料への支出科目組み替
え理由は。

A 健康診断のほか精神疾
患や外科等にも広がり、委
嘱した笛吹中央病院の医師が
幅広い対応と電子メール相
談などの方法も取り入れ、
役務的な側面もあるため、



本庁舎耐震改修工事現地視察

県に確認し総合的に判断し
て委託料への組み替えとした。

Q 耐震改修工事は十分な
現場確認が必要で、現場を
理解し入札が行われている。
経費に改修や補強の幅を見
込んでいるとの聞き取り結
果から、安易な変更を認め
ることは問題ではないか。

A 施工に入ってからの不
確定部分で、全体工事の中
の経費で認めている。応札
業者は現場確認しているが、
その確認まで行っていない。
消防本部所管

Q 職員手当増額の内容は。
A 昨年同時期に比べ火災
は20件増加、災害発生や救
急出場も増加している。

Q 芦川地区の有線接続は、
地震災害等での切断事態に
どう対応するのか。安全面
から実働が重要なので、費
用対効果も大事だが検討し
ているか。

A 万一の場合は中継車を
鳥坂トンネル付近に配備、
支所にある衛星電話対応も
可能。当初は春日山からの
中継も検討したが、費用面
と電波の飛び過ぎによる近
県への影響を考慮するよう

にとの、総務省の指導もふ
まえ有線とした。

経営政策部所管

Q 合併特例債から緊急防災・
減災事業債への組み替え内
容は、

A 合併特例債は事業費の
95%まで借入れが可能、
緊急防災・減災事業債は事
業費の100%借入れ可
能で、元利償還金返済に充
当する後年度の交付税措置
70%は同じのため、より有
利な起債方法を選択した。

市民環境部所管
Q みさかの湯厨房工事の
内容は。
A 排気口出口の扉の故障
フライヤーの不具合と換気
対策、給湯器の経年劣化に
よるもの。

「意見」
指定管理施設の保守管理は、
契約期間内に対応できな
かったり、表面化しないケ
ースも想定し計画的に考え
てもらいたい。

「請願審査」
継続審査としていた請願
第5号「所得税法第56条廃
止意見書の提出を求める請願」
は、引き続き制度上の問題

点や市内の実態調査・検討
を行う必要があることから、
委員全員の賛成で継続審査
とした。

また、請願第8号「新聞
への消費税の軽減税率適用
を求める意見書の採択を求
める請願」は、審査にあた
り紹介議員からの意見聴取
も行ったが、軽減ならびに
低所得者対策の考え方や方
策を、さらに調査・検討す
る必要があるとの意見が出
され、賛成多数で継続審査
とした。

教育 厚生 常任委員会

12月13日、16日の2日間
委員会を開催。付託された
設置条例の制定1件、一般
会計補正予算1件、特別会
計補正予算3件の計5件を
審査し、賛成全員でいずれ
も原案の通り可決すべきも
のと決した。主な質疑答弁
は次の通り。





は各中学校校舎・体育館を指定している。

市民環境部所管

「報告」

甲府・峡東地域ごみ処理施設整備事業の進捗状況は文化財調査が終了し、建設本体工事を実施できるよう準備を進めている。一部地域中で理解が得られていないところは、細かい説明を重ねて理解が得られるよう進めていく。

教育委員会所管

Q 市内小中学校施設整備の老朽化対策など、今後の構想は。

A 10月に完成した笛吹市公共施設白書を検証し、学校の統廃合や長寿命化など地域住民の意見も総合的に勘案し考えていく。

Q 通学路注意喚起看板をもっと増やすべきでは。

A 学校・PTA・警察・道路管理者などが点検し、適正場所や枚数を検討する。



12月13日、16日の2日間委員会を開催。付託された条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件、特別会計補正予算2件、水道事業会計補正予算1件、給湯事業会計補正予算1件、市道廃止1件、市道認定1件の計8件を審査し、賛成全員でいずれも原案のとおり可決・認定すべきものと決した。

主な質疑答弁は次のとおり。産業観光部所管

Q 農林振興課の新規就農者支援事業についての質問に対し、

A 今後も新規の申請があれば対応を検討したい。また市の広報や農業委員会と連携して周知を図るなど、事業のPRを強化したい。との説明がありました。

「報告・要望・現地視察」

観光商工課から来年の桃源郷春まつりの企画案の報告があり、日本の桃源郷にふさわしいイベントとなるよう、更に創意工夫を凝らすよう要望した。また、芦川支所から3年計画で進めてきた上芦川地域原風景復活保存事業が完成した報告を受け、委員全員で現地視察を行った。

建設部所管

Q 石和温泉駅周辺整備事業は、完成するまでは地域や団体から意見や要望が出されるが、どう対応するのか

A 石和温泉駅周辺まちづくり検討委員会を中心に、予算の範囲で対応したい。

上芦川地域原風景復活保存事業現地視察



「意見」

まちづくり整備課のサイオン整備事業は25年度予算の主要事業。景観や観光面でも重要な施策であり、速やかな実施を図るべきだ。

公営企業部所管

Q 下水道維持管理事業のマンホールポンプの更新は

A 市内91カ所にマンホールポンプが設置しており、定期的な点検を行っている。市民生活に影響が出ないよう計画的に更新したい。

保健福祉部所管

Q 支援学校に通う児童が利用できる「放課後デイサービス」当初予算が550万円だったが、年度途中で1840万円の補正予算を盛るようになった原因は。

A 支援事業所が新たにできない増で50人〜60人が利用できるようになった。

Q 地域医療救護体制整備事業(災害用医療資材等購入)は、どこに、どのような備品を納めておくのか。

A 県の10割補助で災害に備え、高額で単独購入できないものを医療用備品リストにする。保管場所は保健福祉センター、笛吹消防署の2カ所。主な備品は救急医療セットやLEDバルーン投光器など。医療救護所



市内通学路に設置してある

注意喚起看板



成人式に想う



境川町寺尾(会社員)
山本 文彦

私たちは昨年還暦を迎え、11月に3回目の成人式を行った。

発起人は、毎月無尽を行っている11人の仲間が中心となり、春先から準備を行い開催となった。家族以上に長い時を過ごしてきた仲間は、何の屈託もなく自由に物事が言い合え、40歳・西暦2000年と節目の年を含め、数回開催している同級会も、常に無尽の仲間が声を掛けあって行ってきた。

平成23年3月11日(東日本大震災)後、「絆」・「結」等の言葉、文字が叫ばれ、命名に使われているのはなぜなのか?我々が小さいころ、家族・仲間・地域は「絆」の言葉など意識したことはない。社会の繋がりの中で当たり前の言葉(事象)だった。今、この言葉「絆」・「結」が叫ばれるのは、ある意味寂しい世なのかもしれない。

還暦を迎えたこの仲間は生涯の友、「幹ちゃん」「幸ちゃん」「まーし」「かーぼちゃん」等、ちゃん付けや、あだ名で呼び合える仲間だ。何のわだかまりもなく、互いに気遣い、気を許せる仲間と4回目の成人式をするのを目標とした。

3月定例議会を傍聴してみませんか!

議会運営内容が確定後、市ホームページ上にて、会期日程・質問内容(表題)を公開しております。参考にご覧ください。

平成26年 第1回定例会本会議の日程(予定)

- 2月26日(水) 午後1時30分～ 本会議(初日)施政方針・議案説明・質疑・付託ほか
- 2月28日(金) 午前10時～ 代表質問
- 3月3日(月) 午前10時～ 一般質問
- 3月20日(木) 午後2時30分～ 本会議(最終日)委員会審査報告・採決ほか

日程等に変更がある場合もあります。傍聴へはお気軽にお越しください。
傍聴席へは先着順となります。(傍聴人定員42名)



新年明けましておめでとうございませう。

今年は本市が合併して10年目を迎えます。7つの町村が一緒になって7万人の市をつくりましたが、笛吹市民としての一体感がまだまだ欠けているように思われます。昨年は富士山の世界文化遺産の登録、リニア実験線走行試験の開始、2020年の東京オリンピック・パラリンピック誘致等々、日本一の桃源郷宣言をした本市の観光にとつて、これらの要素はこのうえない条件を与えられたものと思えます。本市のもっている資源を最大限に活用し、この機会にこれらをつまかく生かした観光施策を考えて、市内外はもとより、外国にまでアピールできる超目玉を開発し、訪れたお客様達が「じゃえじゃえ」と驚き、市内の何処へ行っても心あたたまる「おもてなし」を受ければ、また笛吹市へ行ってみようと思ひ、その時は「倍返し」になつて返ってくることは間違いないと思ひます。それを考えるのは「今でしょ!」そう今しかないでしょ。まず、手始めに今年の桃源郷春まつりを地域全体で取り組み成功に導くようお互いに頑張りましょう。

(古屋始芳)

MITOYO INTERFACE



笛吹市議会だより No.37

〒406-8555 山梨県笛吹市八代町南917
TEL.055-265-2112(直通)FAX.055-265-1101
URL: <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>

発行者: 笛吹市議会議長 前島 敏彦 / 編集: 笛吹市議会広報編集委員会
委員長: 荻野 謙一 副委員長: 岩沢 正敏
委員: 梶原 清 神宮司正人 古屋 始芳 神澤 敏美